

# 日野都市計画事業万願寺第二土地区画整理審議会

## 第37回審議会議事録

1. 召集通知の日 令和3年6月24日(木)
2. 開催の日 令和3年7月 1日(木)
3. 開催場所 万願寺第二・東町まちづくり事務所
4. 審議会委員の数 10名  
内訳 ・所有権者 7名  
・借地権者 1名  
・学識経験者 2名
5. 出席者数 18名  
内訳 ・審議会委員 出席8名  
原田龍次  
太田光博  
田中基行  
岩澤正典  
川島大介  
小泉一夫  
金子勉  
落合正久  
・審議会委員 欠席2名  
藤和通信工業(株)佐藤外次  
綜合サーキット(株)田中康一  
・日野市 6名  
まちづくり部長 宮田 守  
区画整理課長 岡崎 健次  
区画整理課長補佐 鈴木 太郎  
区画整理課長補佐 大野 高宏  
換地係長 松永 淳史  
換地係主任 矢光 亜紀子  
・都市づくり公社 4名  
日野区画整理事務所長 若月 純子  
換地課長 萩田 清光  
換地係長 川嶋 輝之  
換地係主事 伊藤 理子

6. 会議の目的たる事項

- ・令和3年度予算について
- ・令和3年度工事について
- ・関連工事について

7. 傍聴人 0名

＜午後2時00分＞

会長 : 挨拶。まちづくり部長に、挨拶を促した。

宮田 : 今年度最初の審議会、諮問案件無、財政非常事態宣言、新型コロナウイルス、予算として令和3年度は約1億4千1百万円の予算処置、前年度比約43%減、今年度末の事業費ベースの進捗率59.7%で、前年度から1.1%増の説明をした。元副市長問題について説明した。今回の審議会より議事録の公表をすること、区画整理事務所の組織改正及び人事異動について説明した。

会長 : 日野区画整理事務所長に、挨拶を促した。

若月 : 引き続き事業推進に努めると挨拶をした。

[審議会開会]

＜午後2時10分＞

会長 : 第37回日野都市計画事業万願寺第二土地区画整理審議会の開会を宣言した。本日の議事の進め方については、次第に基づき進める旨を説明した。本日、藤和通信工業(株)佐藤外次委員、綜合サーキット(株)田中康一委員2名の欠席について報告した。8名の審議会委員が出席しているので、土地区画整理法第62条第3項の規定に基づき、審議会は成立したことを告げた。議事録署名委員に田中基行委員、川島大介委員を、議事録の書記に事務局の松永係長と矢光主任を指名した。

会長 : 本日の審議会の主旨説明を事務局に指示した。

鈴木 : 配布資料の確認をし、本日は令和3年度予算、令和3年度工事、関連工事について、説明することを伝えた。

会長 : 令和3年度予算についての説明を事務局に指示した。

鈴木 : 令和3年度予算について報告をした。日野市は令和2年2月に財政非常事態宣言し、その後新型コロナウイルスが発生したことにより、令和2年度事業は新型コロナウイルス対策を第1とし、優先順位をつけて区画整理事業を実

施した。令和2年度の事業実施内容を説明した。令和3年度予算編成については市全体として新型コロナウイルス感染症対策を最優先とし、全ての事業をゼロベースで見直し、点数評価を行い、優先順位を付け、最低限の事業進捗が図れる箇所を抽出し、3年度予算を編成した。令和3年度の予算は4地区の総額は約23億。前年度と比べて8.3億円、26.8%の減少。万願寺第二地区は約1億4千万円。前年度と比べて1億1千万円、43.3%の減少である。日野市は令和3年3月に日野市財政再建方針を策定し、令和3年度中に財政再建計画を策定する予定である。令和3年度の事業内容を説明した。財政再建計画期間中の区画整理事業の進め方については中断経費解消、事業費を生み出す保留地創出できる箇所を選出して事業を進めていきたいと説明した。令和3年度は5か年計画の見直しの年であるが、財政再建計画中は事業費の組立が困難であるため、今年度は事業箇所の抽出、再建計画を見ながら5か年計画を皆様に発表したい。通常とは異なる5年計画になることを承知していただきたい。

会長 : 令和3年度予算について審議会委員に質問を求めた。

－意見なし－

会長 : 令和3年度工事についての説明を事務局に指示した。

大野 : 令和3年度工事について説明をした。道路築造工事として道路延長13m、車道幅員8m、水路及び歩道各3m、併せて上下水道、ガス、雨水のインフラ整備し、整地工事538㎡となる工事を行う。工事の公表を8月、契約を9月に行う予定。

引き続き関連工事を説明した。川崎街道と旧JAの北側の区画道路との交差点について警視庁と協議をし、秋頃を目途に警視庁による信号移設、横断歩道移設をし、道路開放をする交差点改良工事を行う。警視庁との協議により、川崎街道側から入る一方通行となる。

松永 : 地区内の土地利用について説明した。エスアイシステムという物流センターの北側の更地になっている土地について、メグミルクに確認したところ今後の土地利用について検討しているところであるということであった。メグミルクから情報が入り次第、審議会に情報提供する。

生活保健センターの東側の土地の件について、現在生活保健センターで新型コロナウイルスのワクチン接種をしている関係で、所有者から土地を借りて駐車場として使用している。

大野 : 日野橋の架け替えについて、東京都南多摩西部建設事務所の日野橋架替事業及び仮橋設置工事の資料に基づき情報提供した。現在の日野橋は1926年に建てられ供用開始から95年経っている。これまで何度か補強工事などい

7  
ろいろな対策を講じてきたが、令和元年台風19号により橋脚1台が沈下被害に遭うなど、近年の大雨の状況を考えて老朽化が進行している日野橋を架け替えて長期的な安全確保をするため架け替えることになったということである。架け替え工事期間は全体で12年要する見込み。令和2年度から工事に着手していて13年度に完了する予定。工事が長期となる理由は渇水期の11月～5月に工事をするためである。工程としては、3カ年かけて仮橋を作り、仮橋に交通を切り替えてから古い橋を落とし、仮橋に交通を通しながら新しい橋を架けるということである。新しい橋を利用できるのは概ね10年後になる予定。新しい橋は斜張橋というケーブルが斜めに張られたデザインの橋。詳しくは東京都南多摩西部建設事務所のホームページに同じ資料が掲載しているので確認ください。現在の橋より1mくらい高い位置に架かる予定。

会長： 今の説明に対して、質問があるか、確認をした。

会長： 橋の幅は今と同じか。

大野： 都計道16mで、今の橋が10.2mになる。

会長： 現在の橋は歩道が狭くて、自転車が危ない。

大野： そうですね。

岡崎： 橋は幅員12mになる。

大野： すみません。12mである。

会長： 日野市と立川市の境はどの辺りか。

大野： 川を中心ではなく、かなり立川寄りになる。

会長： 以前陥没した橋桁はどちら側か。

大野： 明確には分からない。

会長： メグミルクがあった土地は現在メグミルクが所有していて、メグミルクが土地を貸すということか。

松永： 今のところそのように聞いている。

会長： 第三者には渡っていないということか。

松永 : そうである。

会長 : 旧メグミルクから甲州街道に出る道で整備が終わっていない道路が狭くて、朝夕に中学生が3, 4人横になって歩いていて危ない。車が通りにくい。交通量も増えてきて、すれ違いもできないのに車が侵入してくるので早く整備してほしい。  
また、歩道が片側にしかなく、無い側が歩きにくいので、難しいと思うが両側に設置してほしい。

■ : 進捗率が59.7%ということだが、あとどのくらいで事業が終わるのか。

岡崎 : 事業の進捗率と残事業を見据えて、どう効率的に進めていくかしっかり計画立てていくことが大切であると考えている。具体的にいつということは難しいが、皆さんが望まれている街並みの形成を少しでも早くできる整備の手法を見つけていきたいと考えている。事業を進めていきながら財源を確保するため効率的に保留地を生み出すことも考えていきながら、事業の組立というのも見直すべきかなということでこれから作業を進めていかなければならないと考えている。時期としては1日も早く終わらせたいという気持ちはあるが具体的な時期を示すにはまだ早い状況である。

■ : 分かりました。  
もう1つ、すぐに仮換地指定できずに中断移転しているところはあるか。

岡崎 : 中断移転はない。

■ : 分かりました。

松永 : 審議会委員選挙について任期とスケジュールについて説明した。

■ : 近所で道路に1/3ぐらい木が出ている箇所あり、区画整理課に連絡したら昨年11月に切るという話だったがどうなったか。  
危険なので対応してもらいたい。

松永 : 現地を確認する。

■ : お願いします。

会長 : ほかに質問がない事を確認し、審議会の閉会を宣言した。

[審議会閉会]

<午後2時45分>



この議事録は、書記が記載したものであるが、その内容が正確である事を認めここに署名押印します。

令和 3 年 7 月 29 日

会 長 岩澤正興



署名委員 田中基行



署名委員 川島大介

